

(社) 日本原子力学会 標準委員会 リスク専門部会
第 30 回 外的事象 PRA 分科会 議事録

日 時 : 2023 年 4 月 27 日 (木) 14:30~17:00

場 所 : WebEx 会議

配布資料

- RK6SC 30-1 第 29 回外的事象 PRA 分科会議事録(案)
- RK6SC 30-2-1 人事について
- RK6SC 30-2-2 外的事象 PRA 委員名簿 2022/10/31 版
- RK6SC 30-3-1 外部ハザード選定標準に対するコメント票一覧
- RK6SC 30-3-2 外部ハザード選定標準 手引き(技術レポート)の新旧 JIS 比較
- RK6SC 30-4 「地震 PRA 実施基準:202X」改定
 - RK6SC 30-4-1 RKTC22-02 報告資料
 - RK6SC 30-4-2-1 リスク専門部会コメント対応表
 - RK6SC 30-4-2-2 標準委員会コメント対応
 - RK6SC 30-4-3 “原子力発電所に対する地震を起因とした確率論的リスク評価に関する実施基準:202X” の現行版と新規標準原案との対比表
 - RK6SC 30-4-4 “原子力発電所に対する地震を起因とした確率論的リスク評価に関する実施基準:202X” の改定案の本報告について
 - RK6SC 30-4-5-1 地震 PRA 標準案(合本)
 - RK6SC 30-4-5-2 附属書(箇条 6)
 - RK6SC 30-4-5-3 附属書(箇条 7)
 - RK6SC 30-4-5-4 附属書(箇条 8)
 - RK6SC 30-4-5-5 附属書(箇条 9)
 - RK6SC 30-4-5-6 附属書(箇条 10)
 - RK6SC 30-4-5-7 解説 他

議題 :

1. 定足数確認, 資料確認
2. 前回議事録の確認
3. 人事関連
4. 外部ハザードのリスク評価方法選定標準 改定
5. 原子力発電所に対する地震を起因とした確率論的リスク評価に関する実施基準:202X” 改定
6. その他、次回日程

出席委員(17名) : 糸井主査(東大)、桐本幹事(電中研)、内山委員(大成建設)、喜多委員(東電 HD)、国政委員(関電)、栗田委員(東電設計)、小林委員(中部電)、佐藤委員(東芝 ESS)、園山委員(テプシス)、廣川委員(日立 GE)、田中委員(MHI)、中島委員(電中研)、西田委員(JAEA)、橋本委員(退任予定)(電中研)、泥谷委員(NEL)、高橋(美原委員代理)(鹿島)、吉田委員(大林組)

欠席委員(2名) : 砂川委員(北海道電)、山野委員(JAEA)

出席常時参加者(2名) : 倉本(NEL)、根岸(原電エンジニアリング)

参加者: 錦見(東北電)

(1) 定足数の確認

会議に先立ち、委員 19 名中 17 名が出席しており、定足数を満たしていることが確認された。また、資料確認が行われた。

(2) 前回議事録の確認

桐本幹事から、前回議事録の内容が説明され、1箇所誤字の修正の上で承認された。

(3) 人事について

橋本委員の退任が報告され、改めて常時参加者への登録が承認された。

また、地震 PRA 作業会より、稲葉、錦見委員の新任が承認され、猪俣、近藤委員の退任が報告された。

(4) 外的ハザード評価方法選定標準 改定案コメント対応、手引き改定について

泥谷委員より、外的ハザード評価方法選定標準の改定案の中間報告に向けた、前回分科会およびその後のコメントへ対応、及び手引きの案について説明が行われた。

今回のコメント対応に沿って修正し、改めて事前に修正案を送付し追加コメントを受けたものを次回分科会で承認し、中間報告案としてリスク専門部会に上げていくことが了承された。

以下の議論があった。

[標準改定案]

・3-2、13「考慮すべきハザードの組み合わせ」についてのコメントでは、田中委員の文案にそって要求事項を修正し、その後に例示をつける記載と統一すると、規格の性能規定要求として成立するのではないか

→ 拝承。

・適用範囲で外部ハザードに随伴する内部ハザードを対象外としているが、地震 PRA 実施基準を参考にすると、内部火災と溢水の重畳が扱われている。この標準は外部事象 PRA 標準の傘となる位置にあるが、この記載で良いか

→ 解説で地震 PRA での取り扱い等を説明する記載を入れていく対応をまずは考える。

[手引き改定案]

・専門部会中間報告案はそのまま標準改定案となるか

→ 8 月中間報告し、コメントを受けて次回の 12 月に標準委員会と中間報告というスケジュールを考えている。標準と手引きを同時に報告する予定で標準委員会は 1 つずらすこととしたい。

(5) 地震 PRA 標準改定 本報告対応による最終報告について

地震 PRA 作業会根岸幹事より、標準委員会で本報告が承認され、その後頂いたコメント対応への説明があった。本内容で最終報告をすることが了承された。

以下の議論があった。

- ・まえがきは審議対象ではなく制定後の作成でもよいが、英語版が古いままなので標準委員会までには可能であれば修正が望ましい。

→拝承。

(6) その他、次回日程

- ・津波、火災、溢水 PRA については、作業会の主査を含めた委員再構成の上、改定作業を検討する必要があることや、NRRC の研究内容の活用など議論すべき材料もあることなどから、今後、上部委員会となる本分科会で相談が必要なことが議論された。

- ・次回は 2023/7/20 14:00～ Teams 会議で実施予定。